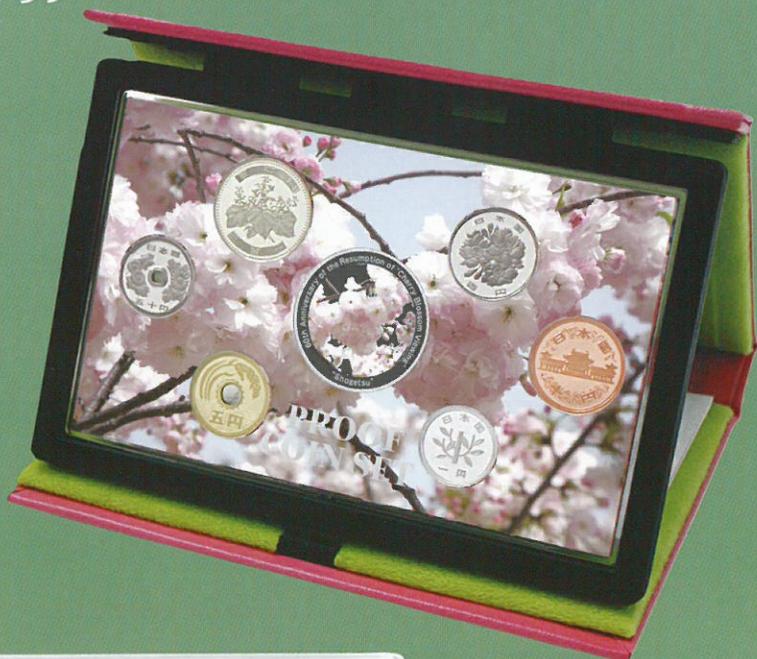


Mint Club

ミントクラブ

20号



造幣局

桜の通り抜け(大阪)と花のまわりみち(広島)

寒さも緩む3月になりますと、花便りや桜だよりが多く聞かれるようになり、ほどなく桜の開花宣言が出されて春本番となります。そして、春の風物詩となっている造幣局本局の「桜の通り抜け」、広島支局の「花のまわりみち」の季節を迎えます。

今年の開催期間については、桜の開花予測をもとに日程を決め、3月下旬までに造幣局ホームページでお知らせするとともに、ハローダイヤル(050-5542-8600 [8時~21時])でもご案内いたします。

＜開催期間(桜の通り抜け：7日間、花のまわりみち：5日間)は、桜の開花状況等により毎年異なりますので、お問い合わせください。＞

✿ 造幣局では、桜花に親しみをもっといただくため、毎年「今年の花」として紹介しています。✿

桜の通り抜け



今年の花

花のまわりみち



松月(しょうげつ)

東京荒川堤にあった名桜で、花は最初淡紅色で、次第に白色となり、花弁数は25枚程度で、葉化雌しべがある。

《平成19年桜の通り抜け》



〔期間〕未定(7日間)
〔時間〕平日 午前10時~午後9時
土日 午前9時~午後9時
〔場所〕大阪市北区天満1-1-79
造幣局本局構内

〔最寄駅〕地下鉄谷町線・京阪本線「天満橋」駅
JR東西線「大阪天満宮」・「大阪城北詰」駅
(天満橋側南門から北門への一方通行)

〔問合せ先〕06-6351-5105(造幣局広報室)

鬱金(うこん)

花は淡黄緑色のショウガ科のうこんの根の色に似ていることから、この名が付けられた。花弁数は10~15枚ある。

《平成19年花のまわりみち》



〔期間〕未定(5日間)
〔時間〕午前10時~午後8時

〔場所〕広島市佐伯区五日市中央6-3-1
造幣局広島支局構内

〔最寄駅〕JR山陽本線五日市駅

〔問合せ先〕082-922-1597(広島支局総務課)

＜造幣局ホームページ(<http://www.mint.go.jp/>)で詳細を紹介＞



＜桜の通り抜け貨幣セット＞

今年の花「松月」

販売価格:1,800円

「桜の通り抜け貨幣セット」及び「花のまわりみち貨幣セット」の販売



＜花のまわりみち貨幣セット＞

今年の花「鬱金」

販売価格:1,800円



貨幣セットについての詳細は、下記にお問い合わせください。

造幣局お客様サービスセンター TEL 06-6351-2626(直通)

桜の通り抜け 2007

プルーフ貨幣セット — 通り抜け再開六十周年記念 —

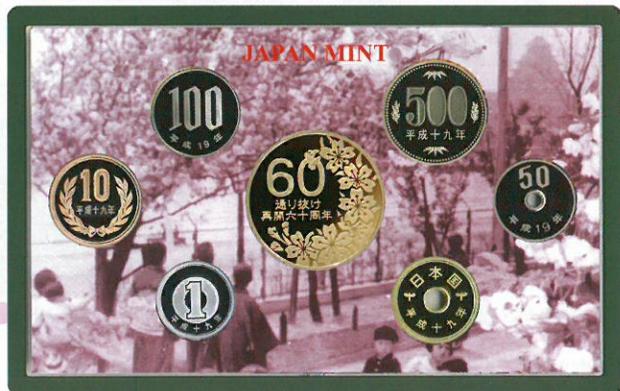
平成十九年
今年の花
Blossom of the Year



松月 SHOGETSU

造幣局では、昭和18年(1943)に中断された「桜の通り抜け」が、昭和22年(1947)に再開されてから今年で六十周年を迎えることを記念して、「桜の通り抜け2007プルーフ貨幣セット通り抜け再開六十周年記念」を通信販売することとしました。

なお、通信販売とは別に、通り抜け会場においても、5,000セットを上限として、直接販売を行います。メダル(スターリングシルバー:銀925/1000、銅75/1000)の表面には、今年の花である「松月」をカラー印刷し、裏面には、通り抜けを再開した昭和22年に新たに発行された50銭黄銅貨の桜のデザイン等を用いて、金蒸着仕上げを施しています。



ベルリン・ワールド・マネーフェアに参加

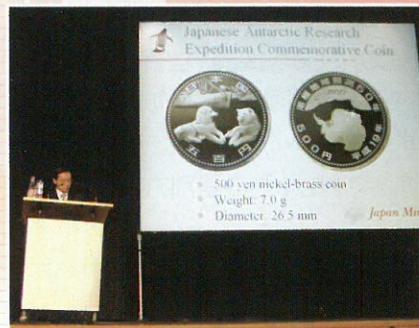
2月2日から4日までの3日間、ドイツのベルリンにおいてワールド・マネーフェアが開催されました。同フェアは毎年スイスのバーゼルで開催されていましたが、前回から会場をベルリンに移しています。



会場風景

ドイツは欧州でもコイン収集が特に盛んな国であり、今回も多くの熱心なコレクターが会場を訪れました。造幣局もブース出展を行い、ジャパンセットなどの貨幣セットや潜像入りブックマーカーなどの金属工芸品を販売しました。

また、来場者が各国造幣局のブースを回ってコインを集めるワールドパスポートにも参加し、5円玉を配布することを通じて多くの現地コレクターと触れ合う機会を得ることができました。



メディアフォーラム

さらに、各国造幣局が自国の新製品を発表するメディアフォーラムにおいて南極地域観測50周年記念貨入りセットなどを紹介し、欧州を始め世界各国の貨幣ディーラーと商談を行いました。



商談風景

海外における造幣局製品の紹介に大きな成果を上げた3日間でした。

古銭蒐集家の世界(後編)「銭聖“一豊舎”」

前回のミントクラブ第19号にご寄稿いただいた日本貨幣協会参事の吉田昭二氏に、今回も引き続き、『古銭蒐集家の世界』について執筆していただきました。



日本貨幣協会参事
吉田 昭二

前回の「古銭蒐集家の世界(前編)」においては、“古銭収集の始まり”と古銭コレクターの代表である“古銭大名-朽木昌綱(くつきまさつな)侯”を紹介しましたが、今回は、“庶民の中で芽吹いた古銭収集の世界”について記してみます。

江戸も寛政(1789年~1800年)の頃、大阪に、安田而唐(やすだじとう)という古銭家が居りました。

彼は、渡来銭の中国北宋時代(960年~1127年)の貨幣に注目し、その銭文(せんぶん…貨幣に表記されている「年号」や「吉祥文」の文字)には、楷書体と篆書体が混在しており、個々の特徴から、同じ鑄造所で造られた楷書銭(かいしょせん)と篆書銭(てんしょせん)があることを発見したのです。

そして、その組み合わせを「対銭(ついせん)」と名付け、その選別方法を同好諸士に伝えるために、諸国を旅したのです。

やがて、この発見は、多くの人の知るところとなり、競って、その楽しみを探求するようになりました。

尾張名古屋へも立ち寄り、文人、僧侶、商人らに伝えられ、面白さを知った人々は、今でいう「研究会」を作ったのです。

そんな中で、一人の油商人が、他に抽んでた存在として、京、難波、そして江戸にも知られるところとなりました。

尾張の枇杷島で、代々油商を営む“山田小兵衛(号を「一豊舎(いっぽうしゃ)」)”がその人で、商家に所蔵されているものや、地下から発見された埋蔵銭を見て廻りました。

有名な出土品に「伊丹掘(いたみぼり)」というものがあります。

京・近衛家の采邑(さいゆう…領地)が、摂津国伊丹外崎村にあり、百姓五郎兵衛が、文化元年(1804年)四月と翌年三月に、杉桶と南蛮焼の大壺から大量の唐銭(中国銭の通称)を発見し、地元の古銭家八尾傲霜堂(銘柄「菊一」の酒造家)が整理し、京都東山の近衛邸へと運ばれたのです。

それを、“山田小兵衛(「一豊舎」)”は、近衛邸で見えています。

左大臣にも昇ろうかとするお公家様のお屋敷へ一介の油商人が参上するなど、一寸考えられないようにも思うのですが、趣味家の間では、身分の上下は関係がなかったのでしょうか。

それに、今なら電話一本で用件が済み、FAXもあり、メールで瞬時に画像が見られる。移動も車、新幹線、飛行機と自由です。

彼等が活躍した頃、尾張と京、難波の往復は、殆んど自分の足で歩くわけですから、強靱な体力と未知のものを求める情熱と気力が充実していたと思われます。

多くの貨幣を見、その選別を果して、対銭(符合銭)分類の最高傑作『符合泉志(ふごうせんし)』三冊が、文政10年(1827年)から同12年にかけて、“一豊舎”によって誕生しました。

その内容の素晴らしさに讃辞は絶えず、対銭(符合銭)集めの人気は、益々高まって行きました。

好運にも、その桜材の版木は、今日まで伝わり、多くの先人によって再版が繰り返されて、穴明銭収集の聖典として、今も大活躍しているのです。

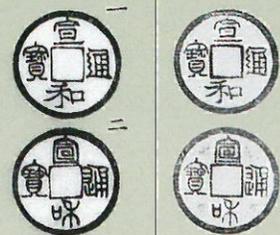
それ故に、“一豊舎”をこの道の第一人者として、「銭聖(せんせい)」と呼んでいるわけです。

“一豊舎”著『符合泉志』初・二・三編



初編には存在の多いものを、二編は選別に苦勞するものを、三編には稀少品を載せて、興味を引きつけるような構成になっています。

この三冊に掲載されている宋銭の完集者は、未だに一人もおられません。

宣和通宝
異制

『符合泉志』の部分とその正品の拓本

北宋第八代徽宗皇帝の時代に鑄造された宣和通宝は60種類に分類されている。

ここに図示したものはその中で「美制通異」という固有名詞を付けて選別されているもので、製作が優れているから「美制」、そして、通字の二画が他の宣和銭に比べると大きい所を採って「通異」と、銭貨の固有の特徴を捉えて名前を付けたのである。

銭貨に固有名詞を冠して集めるのは、日本人の発明であり、対銭収集・研究が今日まで変わらぬ楽しみとして受け継がれる基となりました。

二回にわたり、日本の古銭家の基礎を築いた偉大な二人を紹介しましたが、趣味とはいえ、古銭蒐集は文化なのです。

起伏はあっても連綿と続いて来ましたし、これからも続いて行くものと信じています。

一枚の古銭、一冊の本、そこから享受する世界は、子供の頃に、ビー玉遊びに熱中したようなものではないかと思えるのです。

いかがでしょう。穴明銭を一枚、掌に載せてみませんか？

何か、素晴らしい出会いが、貴方を待っているように思うのですが……。

平成19年4月～6月の貨幣セット販売予定

販売区分	名称	販売価格	受付開始時期
通信販売	肖像シリーズブルーセット	13,000円	受付開始時に、DMでお知らせします。
	キャラクターミントセット	2,300円	
通年販売	平成19年銘ジャパンセット	1,900円	造幣局構内ミントショップ、オンラインショップで販売中。 電話でも受付中。 (06-6351-2626)
	平成19年銘記念日セット	2,000円	
	平成19年銘ペーパーウェイト	3,900円	

※この販売予定は、変更することがあります。



A | B

- A. トオマス・ホロウェイ肖像牌、表。英國製。青銅。直経28.5mm。重量8g。一段覆輪の内側に、日本の造幣局で俗に「馬の齒」と云ってゐる處のembattled borderを回らす。銃眼付きの胸壁に似た形の飾り縁だからembattledと云ふのである。中央にトオマス・ホロウェイの左向肖像。「PROFESSOR HOLLOWAY」、「LONDON」の文字。肖像の首下の斜面に「J.MOORE」の彫込署名がある。
- B. 全左、裏。一段覆輪の内側に馬の齒(embattled border)。醫療を表す女神と蛇。蛇はこゝでは病を癒す力を示してゐる。「HOLLOWAY'S PILLS AND OINTMENT」、「1857」の文字。下部を弦月形に区切る床板の右端に「JM」の彫込署名がある。

Thomas Holloway (1800~1883)は英國の醫藥品の製造者であり、慈善事業家である。1837年頃から彼の特許による膏藥、及び丸藥を賣出して有名となり大きな富を得た。その財を慈善事業に當てたのである。王立ホロウェイ女子大學を創立し、又、下層、中流階級の爲の精神科療養所をも開設した。

此の章牌は小さくて、變色もしてゐるが珍しいメダルなのでここに紹介する。

原型彫刻は表裏ともJoseph Moore (1817~1892)である。彼はバアミンガムに住み、銀細工師をしてゐたが、著名なメダル彫刻家Thomas Halliday (1771~1844)に弟子入りしてメダル彫刻家となり更にメダル彫刻家James Taylorの下で働きTaylorの引退によりその事業のあとを継ぎ、さらにその事業をTaylorの息子に引渡した。

なほ此のメダルの主、ホロウェイと全く同姓同名のThomas Holloway (1748~1827)といふ有名なメダル彫刻家がロンドンにをり、ジョージ三世の御用彫刻家となつてゐるが全くの別人で、此のメダルの主ホロウェイとは關係はない。

(元工藝管理官 松岡隆範 記)

(本稿は、筆者の意向を尊重して筆者の表記をそのまま掲載しています。)

桜の通り抜け記念メダル

今年の通り抜け記念メダルの表は、春風の中をふわふわと舞う二頭の蝶の姿に自分の恋心を重ね見る少女の気持ちをイメージした「Primavera(イタリア語で春)」というデザインとし、裏は今年の花である「松月」をデザインしています。

特に、銀メダルと銅メダルにデザインした「松月」の花には、美しいカラー印刷を施しています。是非、このメダルを、お客様のコレクションの一つにお加えいただき、末永くご愛顧いただければ幸いです。

[メダルの図柄は、原寸大のイメージ図です。]



金メダル



Primavera

材質：純金(造幣局品位証明刻印入り)
 直径：40mm
 重量：約95g
 その他：化粧ケース入り
 販売価格：380,000円(税・送料込み)
 販売予定数：500個



銀メダル



Primavera

材質：純銀(造幣局品位証明刻印入り)
 直径：55mm
 重量：約135g
 仕上げ：銀いふし仕上げ カラー印刷(裏面)
 その他：化粧ケース入り
 販売価格：18,000円(税・送料込み)
 販売予定数：3,000個



銅メダル



材質：丹銅
 直径：55mm
 重量：約110g
 仕上げ：ブロンズ仕上げ カラー印刷(裏面)
 その他：化粧ケース入り
 販売価格：5,000円(税・送料込み)
 販売予定数：4,000個

Primavera

申込要領

申込数：申込み数の制限はありません。
 (販売予定数は、お申込み状況によっては、変更する場合があります。)

申込期限：平成19年3月30日(金)(消印有効)

申込方法：同封の申込はがきでお申込みください。

なお、お知り合いの方で、メダルのお申込みを希望される方がいらっしゃいましたら、郵便はがきで、次の申込先へお申込みいただきますようお願いいただければ幸いです。

[申込先]

「はがき表」〒539-0056 大阪中央郵便局 造幣局「桜の通り抜け記念メダル」係

「はがき裏」1)メダルの種類(金・銀・銅)及び数量

2)氏名(フリガナ)

3)電話番号

4)郵便番号

5)住所(フリガナ)

6)お客様コード(造幣局に登録のある方のみご記入ください。)

お申込みされた方への連絡：3月下旬頃から、造幣局発行の払込用紙を順次送付いたします。

商品のお届けは、4月中旬以降の予定ですが、5月上旬頃となる場合があります。

銀メダル及び銅メダルは、通り抜け会場においても販売いたします。

※ 造幣局品位証明刻印(ホール・マーク)について

造幣局では、製造業者又は販売業者からの依頼に応じて、貴金属製品の品位試験を行い、この試験に合格したものに、「JQA」等の品位証明記号を打刻し、その品位を証明しています。この証明記号を、通称「ホール・マーク」といっております。

このミントクラブはエコマーク商品に認定された再生紙を使用しています

ISO 9001取得
 ISO 14001取得



JQA-QM9665
 JQA-EM5105

発行所 独立行政法人 造幣局
 〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号
 電話 06(6351)6928
 造幣局ホームページ <http://www.mint.go.jp/>
 編集兼発行・事業部販売事業課顧客サービス室

平成19年3月7日発行(第20号)



Japan Mint